

## 2006 茨城県芸術祭映像コンクール入賞入選作品

特賞		<b>炭の意外性を求めて</b> 小林 茂(ひたちなか市) いばらき炭の会は、炭の意外性を世に知らせる活動をしている。鑑賞炭の焼き方や展示会を開いた活動記録。(10分)
優賞		<b>甦った人形芝居</b> 海老沢 公(日立市) 現在の桜川市真壁町、白井村には江戸時代から伝わる人形浄瑠璃があった。80年ぶりに復元された公開の記録。(15分)
優賞		<b>至福の季節</b> 中島 朗(日立市) 5月の庭は花々が満開。そんな花たちを眺めながらひと息つくのが唯一の楽しみ。そこにソレがあればなおさら…。(4分)
奨励賞		<b>父の面影を求めて</b> 山口 弘二(市川市) 父が売り払った古書「将門記」を探したり、父に似た知人を将門ゆかりの地に案内したりして、父の面影を求めた。(5分)
奨励賞		<b>あんこうを高級魚に変えた男たち</b> 遊座 文一(北茨城市) 昔はタダ同然だったあんこうも今では高級魚。その影には世のグルメ志向に合わせた男たちの地道な努力があった。(11分)
奨励賞		<b>挑 戦</b> 清水 啓志(日立市) 日立市の櫛形小学校4年生全員が、歌劇「輝く命」の公演に取り組んだ。その完成までのドキュメント。(7分)
奨励賞		<b>旅は不思議だ</b> 秋田 夙(土浦市) 旅を愛する男が、予期せぬ出会いに感動する話。場所はカナディアンロッキー。なんとそこで40年ぶりの再会が。(6分)
茨城新聞社賞		<b>家庭菜園</b> 金丸ヤス子(土浦市) 土に親しむ楽しさと、収穫のよろこびを撮りためておいたものをまとめた作品です。(5分)
入選		<b>立田自然公園そしてふるさと</b> 原田英一郎(日立市) ふるさとの熊本にある「立田自然公園」での過ぎ行く春の風情を通して、ふるさとへのノスタルジアを伝えたい。(9分)
入選		<b>桜川の鳥たち</b> 大久保 寿(土浦市) 桜川に生息する鳥たちの日常行動を追った。人影を見ると近寄らないため、三脚にカメラを載せ無人撮影をした。(5分)
入選		<b>もみじ彩る晩秋の湖畔にてゆりかもめと遊ぶ</b> 寺田 秀雄(つくば市) 霞ヶ浦湖畔の運動公園は紅葉が見事。そしてユリカモメの大群が訪れる。この取り合わせを楽しんでください。(4分)
入選		<b>雪の土浦城址公園</b> 金子 秀夫(土浦市) 土浦地方に久しぶりに雪が降った。亀城公園内の楼門に降る雪や広場で遊ぶ子どもたちの姿を追った。(6分)
入選		<b>C a t s e y e</b> 坂江 鉄男(ひたちなか市) 仕事に疲れたOLが野良猫にあって癒され、一緒に暮らすようになるというアニマル・セラピーの物語。CG作品。(3分)
招待		<b>豪雪の白川郷</b> 小川 浩(日立市) 今も独特な伝統が息づいている岐阜県白川郷。最も雪の多い2月に訪れ、豪雪地帯の風物と暮らす人々の姿を撮った(13分)